

区立学校における校庭安全点検の実施結果について

品川区では、地域のサッカークラブの活動中、児童1名が地中に埋まっていた棒状金物により、怪我を負う事案の発生を踏まえ、全ての区立学校の土および天然芝の校庭において、金属探知機による緊急調査および必要な除去作業を実施した。

その結果がまとまったので、下記のとおり報告する。

記

1 点検概要

- (1) 調査期間 令和6年2月3日～3月29日
- (2) 実施校 土および天然芝の校庭を有する区内全23校
- (3) 実施方法 金属探知機にて反応した箇所の表層10cmの深さまで掘削し、金属物などを除去

除去数

棒状金物・釘	5,075本
その他（ガラス片など）	2,719個
合計	7,794本・個

2 今後の方針

児童・生徒の安全安心な運動環境確保に向けて下記の維持管理を徹底する。

- (1) 校庭において、原則、棒状金物を使用しないこととする。
- (2) 恒久的なマーカー（目印）を設置する場合は、安全性の高いゴム製のものを使用する。
- (3) 行事などの実施に際し一時的にマーカー（目印）が必要な場合は、棒状金物が表層に出ないように十分に埋めるとともに、実施後には、使用本数と除去本数を照合するなど残置しないようにする。
- (4) 地域のスポーツクラブなど学校以外の活動においても、利用前の安全確認や利用後の清掃・整備を徹底してもらうよう、注意喚起を図る。